

5. 本年度の交流計画の概要

(共同研究)

1. 3国のコーディネーターの会談

2011年5月にアメリカ合衆国・フィラデルフィアで開催される米国胸部外科学会の会期中に、3国コーディネーターの澤芳樹、アリ・ハリユラ、アクセル・ハーベリッヒ教授によるトップ会談を行い、本事業の国際的研究協力体制、共同研究、実験の分担、研究者の交流について話し合う。

2. ホームページの更新・充実

開設した本事業のホームページを更に充実させ、本年度の事業内容、事業計画等の情報を国内外に公開し、新たな事業協力者・協力機関を募り、事業・拠点形成の拡大を図る。

3. 共同研究の実施

新たにヘルシンキおよびハノーファーに若手研究員を大阪大学医学系研究科から派遣し、それぞれの共同研究テーマに沿った実験を遂行する。また、ヘルシンキから1名、ハノーファーから1名、若手研究者が大阪大学に留学する予定である。ヘルシンキ大学では細胞シート移植実験、ハノーファー医大では3次元心筋組織構築、大阪大学では心筋シートの改良実験といった各々研究テーマに沿った実験を予定している。また、ブタiPS細胞を用いた心筋分化誘導の国際共同研究を大阪大学とハノーファー医大の間で更に発展させる。各国の先端的学術情報を交換するため、留学生を交えて各研究室で定期的に研究発表会を開催する。留学者は密に自国のコーディネーターと連絡をとり、研究情報の交換、研究成果の報告を行い、成果をホームページ上にアップデートさせ、国際ハブ形成に向けての作業に従事する。

4. 研究成果の発表

得られた研究成果は速やかに国内外の学会にて発表し、論文掲載を行う。国内においては2012年6月に横浜で開催が予定されている第11回日本再生医療学会において研究成果の発表を行う。国際学会においてもアメリカ心臓病学会、欧州胸部外科学会、欧州人工臓器学会等での発表を予定している。

(セミナー)

ヘルシンキ大学、ハノーファー医大、大阪大学の研究成果を発表し、国際戦略型における共同研究の指針と役割分担を決定するため、2011年度の上半期にハノーファーで戦略会議を予定している。JSPS ボンオフィスの小平桂一所長、大阪大学グローニンゲンセンターの弘津禎彦所長を招待する。2011年7月にはフィンランド・ヘルシンキで若手の教育を目的としたサマーセミナーを予定しており、それぞれの施設の若手研究員の成果発表を行い、情報交換を図る。

(研究者交流)

各国拠点機関および協力機関の間での情報交換を目的にして、日本側研究者数名が1週間程度、フィンランド及びドイツに滞在する。また、ヘルシンキ大学の共同研究者数名、ハノーファー医大の共同研究者数名も短期間大阪大学を訪問する予定である。

先端研究拠点事業—国際戦略型—平成23年度実施計画書

6. 実施組織

○日本側実施組織

拠点機関	大阪大学医学系研究科
実施組織代表者 職・氏名	医学系研究科長 平野 俊夫
コーディネーター 所属部局・職・氏名	医学系研究科・教授・澤 芳樹
協力機関数	3
協力機関名	大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 京都大学再生医科学研究所 東京女子医科大学先端生命医科学研究所
拠点機関事務組織： 事務総括責任者	国際交流オフィス国際交流課長 向井 弘志
事務総括担当者	国際交流オフィス国際交流課国際交流推進係長 赤坂 真弓
経理管理責任者	医学系研究科経理課企画経理係長 中島 武司
経理管理担当者	医学系研究科研究支援室研究連携係長 周防 孝

○相手国側実施組織 1

国名	フィンランド
拠点機関	ヘルシンキ大学
コーディネーター 所属部局・職・氏名	医学部心臓血管外科 教授 Ari Harjula
協力機関数	3
協力機関名	クオピオ大学・A IV 研究所 タンペレ大学医学部 オウル大学医学部

○相手国側実施組織 2

国名	ドイツ
拠点機関	ハノーファー医科大学
コーディネーター 所属部局・職・氏名	胸部心臓血管移植外科 教授 Axel Haverich
協力機関数	3
協力機関名	ロストック大学医学部 デュッセルドルフ大学医学部 ハイデルベルグ大学医学部

○相手国側実施組織 3

国名	
拠点機関	
コーディネーター 所属部局・職・氏名	
協力機関数	
協力機関名	